

みうらトーク & トーク 平成 27 年度第 2 回

三浦市市制施行 60 周年記念特別版

日 時 平成 28 年 1 月 10 日(日)
13 時 00 分～ 13 時 45 分

参加者 三浦市内 3 中学校吹奏楽部部員の皆さん
テーマ 私たちの未来



<意見交換・概要>

市長 今日は皆さんに集まっていただきました。ありがとうございます。今日も三浦市には、この近辺も含めてとてもたくさんの人に来ていただいています。今日、私はここに来る前に上宮田の南下浦市民センターで餅つき大会に出席してきました。小泉進次郎代議士も来ていて対応していたら、遅くなってしまいました。また、道路が凄く混んでいます。大人達はたくさん人が来てくれるけど、道路が渋滞して困るというのは共通の意見かもしれません。皆さんも思っているかもしれませんね。今、三浦にたくさん人が来てくれるのはとてもありがたいことです。三浦市は水産物や農産物がたくさんあって「グルメのまち」として売り出しています。時々テレビなどにも取り上げられてご覧になっているかもしれません。ここで、今、皆さんが持っている三浦市の印象をお聞かせ願えませんか。どなたかおねがいします。

生徒 私は横須賀市民なのですが三浦の学校に通っています。横須賀と違ってのどかなところが良いなと思います。

市長 もう一人お願いします。

生徒 緑や海などがいろいろあって良いところだと思います。

市長 今、お二人からお話聞きましたが、自然があって良いという意見は皆が言ってくれますね。皆さんは 13 才から 15 才くらいでしょう。10 年後に三浦市にいてくれるかということが我々にとって大きなテーマなのです。皆さんが仕事を持ったり、お嫁に行ったりする時に三浦市に住んでいたいと思ってくれるようにしていけないと考えています。今、三浦市の人口は 45,150 人くらいかな。そのうち 65 才以上の人たち、高齢者と呼ばれるんですが、それらの人たちが約 34 パーセントです。小さな子供たちも減ってしまっ

ているし、非常に少ないのが20代、30代の働き盛りの人たちなのです。これらの人たちは仕事の都合などで三浦市から一旦出てしまうのです。以前、このまま行くと子どもが少なくなると都市を維持できなくなる消滅可能性都市というものになるといわれました。それくらい若い人たちがいなくなっているのです。我々は多くの人に三浦市をより良く思ってもらえるよう都市を売り込む活動をしています。結果的に三浦市に住んでもらいたいというのが究極の目的です。環境の良さや街の良さをPRしているが上手く実現できていません。今日のテーマは「私たちの未来」ということですが、皆さんの発想で将来どうしたらよいのかと言うことのアイデアをいただけたらと思います。

今、市にはいろいろな問題があります。街をきれい保つ環境の問題、交通アクセスを良くしようということもあります。そのような中で環境の問題についてお話をしたいのですが初声中学校の発言者の方お願いできますか。

生徒 私は未来の三浦市についてどうしたらよい街になるか考えました。三浦市は畑が多くて緑がたくさんあって海もある、自然豊で環境の良い街だと思います。なので、その環境の良さを活かしていけば三浦市がもっと活気のあるまちになるのではないのでしょうか。今、三浦市には空いている畑や空いている家がたくさんあるといわれています。そのような空いている畑や家を活かせば良いと考えました。畑は農業体験できる場とします。体験してくれた方には三浦産の野菜を贈ります。これを通じて三浦市の野菜をたくさんの人に知ってもらえます。空き家は貸別荘の様なものにします。三浦市内には宿泊できる場所が少ないので安くして気軽に使用できる施設があったら良いのではないかと思います。貸別荘では利用者に地元の食材をデリバリーするサービスを提供します。三浦市の食材のアピールに繋がります。そして、利用者向けに海が近いことを利用してマリンスポーツが体験できるように整備します。元々あるヨットやカヌー、バナナボートなどを今よりもっと気軽に利用できるようになったら良いと思います。更に新しいマリンスポーツを取り入れれば話題にもなって観光客の人も地元の人も楽しめるのではないのでしょうか。このように環境の良さを活かして活気のある三浦市にしたら良いと考えました。

市長 ありがとうございます。私も三浦市にはよその街にない良いものをたくさん持っていると思います。そういったものをきちんと活かしていけば良いのではないかという提案をいただきました。今は、やはり空き家の問題が話題になっています。三浦市内で約3000戸空き家があるといわれています。その中にはもう使えない家も、すぐに使える家もあります。これから実態調査を行って、その空き家を有効活用できるよう、使っても良いという所有者に登録いただいて空き家バンクを作って、都市の人に利用していただく事を準備しているところです。今日は良い提案をいただきました。マリンスポーツの話題も出ましたが三浦市にはヨットハーバーがたくさんあります。2020年には東京オリンピックが開催されます。その際にセーリングの競技が藤沢で行われるのを皆さん知っていますよね。知

っている人

(数人が挙手)

はじめて聞いた人は

(多数が挙手)

そうですね、そういうことなのですね。東京オリンピックの際は皆さんは二十歳くらいが一番盛り上がるころではないでしょうか。セーリングの競技は東京都の若洲で開催する予定でしたが、羽田空港の関係で取材のヘリコプターが飛べないこととなり他の地を探していました。そこで、神奈川県が手を挙げて藤沢の江ノ島で開催することとなりました。そこでも、厚木飛行場の航路の関係で江ノ島から西では開催が難しいこととなり、コースは江ノ島から鎌倉、逗子、葉山、横須賀の沖で開催することとなったのです。三浦市はコースには入っていませんが三浦市にも宿泊施設などで相談が入ってきています。国民的な事業なので三浦市も乗り遅れないように準備を進めています。それは三浦市は海があるからですよね。自然環境もそうですが海は三浦市にとってとても大きな財産です。このことを上手く提案してくれました。

皆さんも今の話は同感できますよね。

続いてですが、やっぱり人が集う場所は便利でなくてはなりませんよね。三浦市には電車の駅が三崎口と三浦海岸駅があります。そういった場所を中心にどうしたらよいかを考えてくれた南下浦中学校の発言者の方お願いできますか。

生徒 私が提案することは、三浦海岸駅近くに横須賀中央駅などにあるモアーズやダイエーのようなデパートを招くことです。そのデパートの中には人気の洋服ブランドのショップやゲームセンター、デパートの地下には三浦市の特産品を使って作ったおいしいお総菜の店を入れることです。三浦の特産品を売れば宣伝になるし、地元の人や観光客がたくさん来るようになるでしょう。以上です。

市長 ありがとうございます。三浦海岸の駅に賑わいを持つてくることを提案してくれました。今は何もないと言っても良いくらいですよ。以前、京急の所有するグラウンド一体を高層マンションを作って、ショッピングセンターも一緒に作るという動きがありましたが、リーマンショックという大きな経済変動がおこり進みませんでした。しかし、国を挙げて景気を良くしようとする政策を行っていて、景気が良くなってくれば、民間による投資が動き出すので、それを期待しています。鉄道は京浜急行電鉄さんなので、協力を依頼していますが、駅前がさみしいですよ。夜遅い電車で帰ってきてても駅前に何もないし、そのような話題を京急さんとも話をしています。三崎口駅前は目の前が畑ですよ。そうすると建物は建てることができないのです。このことは改善できないか考えています。話題にあったモアーズのような施設はたくさんお客が来てくれないと成り立つことができません。三浦海岸や三崎口でいきなりモアーズのような建物は難しいかもしれませんが、ち

よっと買い物ができたりゲームができたりするようになれば良いとは考えていますので、少し気長にみていてほしいです。でも、駅前はちゃんと商店があったり電灯が点いていたしないとさみしいですもんね。皆さんもそう思いますよね。

(多数がうなづく)

駅前が閑散としていてはさみしいですもんね。ありがとうございます。若い人の意見として我々もきちんととらえていきます。

駅前のお話でしたが、駅前にはゴミが落ちていたりしますよね。ぜひ、お互いに注意して街をきれいにしていけると良いですよ。身近な環境を整えていくことが大事ですが、大きな環境問題というのもあります。中でも資源の問題などにも考えてくれた三崎中学校の発言者の方お願いできますか。

生徒 私は特に変わった未来を求めめるのではなく、今までと同様に自由に暮らせる未来が良いです。なぜなら、今も食べることに困らず、住むところにも困っていません。しかも、自分のしたいことも結構できていると感じています。普通に暮らしていれば怖い思いもなくて済むこの状況よりもっと楽にとか、もっと便利になどの未来はいらないと思います。でも、この国は今資源を使いすぎているのではないかと感じています。世界に誇る技術力があるなら今より生活をもっと楽にするより、もっと長続きするように国全体が努力べきだと思いました。有限の資源を無限とまではいかなくても、少ない量でも長続きする、そのようなものを探して代えていけば今の幸せがもっと長く続きます。そうなるの良いなと思いました。以上です。

市長 ありがとうございます。今のお話は無駄をなくしていこうという話題かと思います。身近なところだとスーパーのレジ袋をエコバッグを持参して使わないなどの取り組みがありますよね。そういった地道な取り組みをしていくことが大事に思われます。三浦市には風や熱を利用した施設を徐々に整備してきています。また、太陽光発電などの取り組みもみられます。三浦市の宮川には風力発電所が2機あります。発電された電力は販売されています。その付近にバイオマスセンターという施設ができました。あの施設は農産物水産物の残渣や下水道の汚泥、し尿を再資源化する施設です。それらの資源が発酵してメタンガスが発生するのですが、ガスをエネルギーとして利用する、実は先進的な施設なのです。あの地域は自然エネルギーを活用したクリーンな地域ですから、クリーンエネルギーのことなら三浦市に行けば解るといわれるようにしたいと思って取り組んでいます。今のお話のとおり、今ある限られた資源を無駄にしないためには、一人一人が心がけていかなくてはなりません。例えば、学校でも鉛筆や教材などを無駄にしないように心がけていると思います。その心が大事になるのです。今後も実践していただけたらと思います。

今日の皆さんは吹奏楽部のメンバーですよ。皆の目指すものって何ですか。吹奏楽をやって目指すもの、例えばプロの音楽家になりたいとか、そういう思いでやっている方もいると思いますが。先生方もとても一生懸命やっただいていて、三浦市の吹奏楽は非常にレベルが高いと認識していますので、皆の目指すものをうかがってみたいです。

生徒 私は音楽家になりたいとは考えてはいないのですが、皆で吹奏楽をやるのはとても好きだし、自分の楽器もとても好きなので高校に進学しても吹奏楽は続けていきたいです。将来は演奏家にはなれなくても、何かしら楽器に関わる仕事をしたいなと思っています。

市長 皆はやっぱり吹奏楽をやっていて楽しいでしょう。先生に怒られて厳しいって思っている人いないよね。たぶん、楽しい事って一生懸命できるんだよね。それが大事だと思います。やはり、吹奏楽と一緒にやった仲間というのは一生のつきあいになります。一生懸命練習をやったり演奏会など、中学生の思い出というのは一生の中で一番記憶に残るものです。今を大事にしてほしいし、何より楽しいことやっていると辛いよね。だから先生から多少厳しいこと言われても、めげないで頑張れると思うので、三浦市の吹奏楽、三崎中学校、南下浦中学校、初声中学校それぞれ持ってきて、一生懸命やってくれているので、今後も頑張って、ぜひ、レベルを上げていってください。

皆さん辛いこととか、何か言いたいことありますか。

生徒 私は吹奏楽が好きなので、辛いこととかはなく、普通に楽しいです。

市長 やっぱり、部活ってそうなのかもね。嫌々やっている人っていないよね。先輩後輩の関係などでとても辛いとかもないですかね。後輩にちゃんと指導していますか。先生は厳しくないですか。いま、子どもの数が減ってしまって部活が成り立たなくなる運動部もあると聞きます。中総合の大会ができないなどもあるようです。吹奏楽は日々練習している様ですが市内では、今、大会って無いのですよね。市内での大会は考えたことないのですか。教育委員会いかがですか。

職員 現在、合同で演奏する機会が多くなって学校どうしの繋がりが強くなってきていますので大会という感じではないようです。

市長 では、三浦市は学校対抗ではなく、一緒になって神奈川県や全国で頑張れるようにしようか。何か目標を持った方が良いでしょう。何か教育委員会にも考えてもらいましょうね。時間も無くなってきましたが、三浦市はとても小さな街です。隣の横須賀市は41万人です。だいたい三浦市は9分の1くらいの規模なんですけど。三浦市がこれからやろうとしている事は、まず、旧三崎高校の跡地に市民交流拠点を整備する動きがあります。又、前

の三崎中学校と市役所周辺の城山をいかにしたら三崎の下町が活性化できるか検討しています。三崎には大きな漁港がありますね。三崎港といいます。神奈川県が管理しているのですが、全国に13カ所しかない特定第三種漁港といって、この街だけでなく県や全国に影響を持つ漁港なのです。北は青森の八戸や気仙沼、石巻、銚子などの大きな漁港の一つに数えられているのです。三崎魚市場での商いの取扱高は約206億円で全国で7番目の規模です。ただ、ピークの一番マグロが活況を呈した昭和40年代から比べるとだいたい半分以下になってしまっているのですが、まだまだ200億以上の商いがあります。中心はマグロの取引です。地元の魚もちろんありますが3分の1くらいで、マグロの市場といっても良いでしょう。それほど三浦の街というのはマグロで発展した街なのです。市外の親戚の人たちなどマグロ食べたいなって言いませんか。

初声中学校の人たちは最近周りが大変変わりましたよね。便利になったと感じたりしませんか。あのエリアの海側にも住宅開発の予定があり、初声の街はまだまだ大きく変わっていきます。引き橋は交差点の角のところに消防署が移転します。今、市立病院の前にある消防署と引き橋の分署を統合します。今度の消防署は横須賀市の消防署として造ります。消防は横須賀市と三浦市と一緒に仕事をする事になり、横須賀市消防の三浦署として開設します。三崎港近くの分署は海難事故などに備えて残します。今後、街も変わっていきます。皆さんも街のことに関心を持ってください。今日は吹奏楽部の皆さんにとっても参考になるご意見を頂きました。今後の我々の仕事にきちんと反映させていきたいと思っています。皆さんの意見というのは、これからの三浦を守っていくために非常に大事なものです。皆さんも一人一人が郷土愛を持っていただいて、三浦市をこよなく愛してほしいというのが私の願いです。

これからまた練習するのですよね。明日は何曲演奏してくれるのですか。

生徒 旧三崎中学校を含めて各中学校の校歌4曲と他に2曲です。

市長 これ毎年恒例なので、皆さんが二十歳になったときに後輩がやってくれるように、皆も頑張らないと残らないかもしれませんよ。ぜひ、吹奏楽をずっと続けてくれる後輩に引き継げるようにしてくださいね。

(生徒一同 「はい」)

市長 では、最後にこれだけ入っておきたいという方はいますか。

生徒 三浦市は海が売りです。夏になると海水浴のお客がいっぱい来ます。自分が普段歩いていたりすると凄いゴミが落ちていて汚いです。市外の友達などは海が近くにあって良いなといわれますが、自分たちの目からすると砂浜が汚かったり、海が濁っていたりする

ので、もっときれいにして、海にゴミを捨てる人も中にはいると思いますがルールを守ってくれるように呼びかけて、そうすれば魚の住む環境が良くなり三浦の海がより一層良くなると思います。それらに力を入れてほしいと思います。

市長 ありがとうございます。他にいますか。

生徒 私は京急ニュータウンに住んでいますが、毎年春になると桜まつりが行われていて、三浦海岸駅の方には屋台が出ていて凄く賑わっていますが、実際に桜が咲いている線路沿いには屋台など無く、来訪客は写真を撮って帰ってしまい賑わいが生まれていません。屋台などを増やせば賑わいが生まれて観光客がもっともっと来ると思います。

市長 今の意見は、実は話が出ています。駅前には賑やかなのですが桜を観て小松ヶ池に行くときみしいといわれます。これは開催してくれる人たちと相談しながらやっていますので、ご意見ありがとうございます。中学校の皆さんもそう思っている事が貴重なのです、普段意見を聞けないからね。

南下浦中学は海岸清掃を定期的にやってくれているんですね。とても大事なことです。先生方にも、ぜひ、続けてほしいとお伝えしています。他にも海岸清掃はボランティアの方達も入ってくれていますが砂浜は広すぎて行き届かないことがあります、そんな中に地元の中学生在が入って行ってくれていることは、非常に良い印象を与えてくれますし、皆も喜んでくれています。ぜひ、これからも続けてください。

本日は良い意見をありがとうございました。三浦市の吹奏楽ここにありという、自分たちが一生懸命やって満足するという演奏、結果良かったと思える吹奏楽部を実現してください。ありがとうございました。

生徒一同 ありがとうございました。